



教育目標

ふるさとを愛し 夢を拓く 広野の子 ○学びを生かす子 ○未知に挑む子 ○共に創る子

今年度の重点

自ら取り組み、表現して、自己有用感を高める子どもの育成

社会に開かれた教育課程のマネジメント

学習効果を高める複式指導の研究 個に応じた指導の充実 家庭学習の一層の定着 小中一貫教育の推進

GIGA スクール構想におけるICT環境を整備した学びのマネジメント

iPad/Chromebook等1人1台端末による学びの個別化 プログラミング教育の推進とICT活用授業

期間

令和4年4月1日～令和4年7月22日

各種調査、前年度反省等から

三者評価から (矢印は前年同時期比)

Table with 7 columns: 国語, 算数, 他教科, 学習状況, 指導方法の工夫, 家庭学習の定着, 学習指導要領の実施. It contains detailed analysis of survey results and evaluation data.

改善の方策

授業改善

- 学習指導要領に基づき、適切な教育課程の実施及び管理。
○「国語科における主体的学習」の研究1年目として、「広野スタイル」の更なる充実と複式授業におけるICTを活用した主体的な学習を進める。
○わかる授業を実践し、指導と評価の一体化を進め、「確かな学力」を育む。

学習環境整備

- 外国語科の教科担任制(中学校教諭)を検証し、次年度の小中9年間の学びへとつなげる。
○1人1台端末を有効活用し、ICTが授業のスタンダードとなる教室環境を構築する。
○辞書引きによる語彙力、読書活動の充実と新聞記事を活用した文章要約による読解力を向上させる。

学校・家庭・地域との連携

- 学校・児童・家庭が三位一体となり、家庭学習をより充実させる。
○「学びチャレンジ」で長期スパンの復習、「復習金曜日バイキング」で短期スパンの復習を行い主体的な学びを推進する。
○八広コミュニティ・スクールにおいて教育方針を熟議。
○保育所・八千代中学校との連携の強化。

到達目標

Table with 6 columns: 授業改善, 数値目標, 学習環境整備, 数値目標, 家庭・地域との連携, 数値目標. It shows specific targets for the first semester.

教職員目標

働き方改革(広野アクション・プラン)と働きがい改革(広野モチベーションアップ・プラン)

- 【視点1】 ○個々の在校時間の把握(勤怠管理) ○1日のワークスケジュールの見直し(1日の時間外勤務60分以内)
【視点2】 ○コアチームによる業務の見直し(スリム化と削減) ※プレスクラブ ○業務の平準化(枠にとらわれない)と業務の時短化(ICT)
【視点3】 ○SSSと学習指導員の活用(地域人材登用) ○10日以上(学校閉庁日設定と通知、時間外の電話対応(留守電))

評価

「子どもの姿(変容)」で成果を示す

★実態調査(児童アンケート、生活リズムチェックシート、結果提示) ★外部評価(保護者、C・S協議会等でのアンケート) ★全国学力・学習状況調査、チャレンジテストなど



帯広市立広野小学校

# 令和4年度 I 学校改善プラン② ～豊かな心・健やかな体～

教育目標	ふるさとを愛し 夢を拓く 広野の子 ○学びを生かす子 ○未知に挑む子 ○共に創る子											
年度の重点	自ら取り組み、表現して、自己有用感を高める子どもの育成											
	豊かな心を育てる教育課程のマネジメント いじめ防止基本方針の改訂と推進 道徳教育の更なる推進 キャリア教育(個別のキャリア形成)の充実				健やかな体をつくる教育課程のマネジメント 安全・安心な学校体制づくり(防災教育とコロナ対策、緊急対応) 1年間を通じた運動機会 食育の推進							
期間	令和4年4月1日～令和4年7月22日											
実態	「豊かな心の育成」の今年度の重点 (矢印は前年同時期比)				「健やかな体の育成」の今年度の重点 (矢印は前年同時期比)							
	あいさつ・返事		思いやりの心を育む指導		よい姿勢		新体力テスト (赤は全国平均を上回っているもの)					
	児童: 3.8→ 保護者: 3.7→ 学校: 3.3→	児童: 3.8→ 保護者: 3.8↑ 学校: 3.4↓	児童: 3.9→ 保護者: 3.8↑ 学校: 3.5↓	児童: 3.2↓ 保護者: 3.5↑ 学校: 3.1↓	握力	上体	長座	反復	シャ	50m	立幅	ソフ
■自分から進んであいさつする場面が増え、保護者も実感している。今後は、場面に応じたあいさつを指導徹底し、より一層の定着を図る。		■分け隔てなく仲間に対する優しさが素晴らしく、上級生をお手本にするという良き風土を更に充実させる。道徳授業の推進。		■未然防止ときめ細かな対応を心がけ、報連相の徹底を図る。いじめや差別のない学級・学校づくりを今以上に推進する。		■児童、学校が昨年より評価が下がり、改善が必要である。日頃から児童の定着意識を高められるよう、声かけ指導を継続する。		■昨年度は臨時休業明けの実施で各種目において課題が多かったが、今年度は男女とも全国平均値より上回っており、朝の体力づくりや縄跳びトライの成果が現われてきている。(継続した取組と授業時のストレッチ) ■男子は長座体前屈、女子はシャトルランが課題。(柔軟性・持久力 UP)				
改善の方策	日常指導・授業等の充実		家庭・地域との連携		日常指導・授業等の充実		家庭・地域との連携					
	○あいさつ、返事、後片付けの基本的生活習慣の更なる定着を図る。 ○思いやりの心や規範意識、命を大切に作る豊かな心を全学年で育てていく。 ○レジリエンスを高めるために、日常の教育活動において児童への声かけを工夫する。		○状況に応じたあいさつ、返事の習慣を保護者に啓発していく。 ○子どものサインを察知し、保護者との情報共有を密にする。(いじめの未然防止) ○コロナ禍において、感染者等への態度や行動、個々の悩みを共に考え、支援する。		○朝の「体づくり」を取り入れ、柔軟性や瞬発力を鍛える運動を行う。 ○もしりの定着を目指す。(定期的な意識付け、1日1回の共感的声かけとピラサ) ○コロナ禍においても可能な限り、体力増進を図る。		○早寝・早起き・朝ご飯の推進。 ○保育所、中学校と連携し、エリアファミリーの取組(小中一貫教育)を充実させ、八広の日を推進する。(ノテレビ・ノゲーム・ノチャージ含) ○八広コミュニティ・スクールを活用した組織的な取組(行事等)を推進する。					
到達目標	日常指導・授業等の充実		家庭・地域との連携		日常指導・授業等の充実		家庭・地域との連携					
	1学期	進んで気持ちのよい挨拶等ができるようになる。正しい判断と責任ある行動。	3.7	家庭・地域と連携して、いじめの未然防止に取り組む。	3.7	1学期	もしりの姿勢に対する意識を高め、体づくりとストレッチに取り組む。	3.6	保育所や中学校と連携して、もしりやノテレビ・ノゲーム・ノチャージを推進する。	3.6		
教職員目標	働き方改革(広野アクション・プラン)と働きがい改革(広野モチベーションアップ・プラン)											
	【視点1】○個々の在校時間の把握(勤怠管理) ○1日のワークスケジュールの見直し(1日の時間外勤務60分以内) ○定時退勤の日常化と完全定時退勤日(毎週金曜日) ○放課後1時間の年休取得推進											
	【視点2】○コアチームによる業務の見直し(スリム化と削減)※プレスクラップ ○業務の平準化(枠にとらわれない)と業務の時短化(ICT) ○朝打は週2日(月曜、金曜) ○教職員相互の声かけ 【視点3】○SSFと学習指導員の活用(地域人材登用) ○10日以上の学校閉庁日設定と通知、時間外の電話対応縮小 ○教育活動の検証・改善に対する情報発信と理解											
評価	「子どもの姿(変容)」で成果を示す						「子どもの姿(変容)」で成果を示す					
	★実態調査(児童へのアンケート、生活リズムチェックシート、結果掲示) ★外部評価(保護者、C・S協議会等でのアンケート) ★いじめ調査(文科、帯広市、校内)など						★実態調査(児童へのアンケート、生活リズムチェックシート、結果掲示) ★外部評価(保護者、C・S協議会等でのアンケート) ★体力テスト、全国体力・運動能力運動習慣等調査 など					